

D2660

東大阪東ロータリークラブ

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST ROTARY CLUB

Club Weekly Report

2019-4-25

No.2605



創立：昭和40(1965)年3月4日

『職業を語り、誇りを持ってロータリーをエンジョイしよう』

例会場：ホテルセイリュウ 例会：毎週木曜日 12:30～ HP：<http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長：水上 雅博 / 幹事：藤本 良男 / 会報資料担当：田原 さおり

今日の例会

- 本日の卓話
「献血の現状について」
大阪府赤十字血液センター
事業推進一部 献血推進課
推進一係長
植田 宏和 様
- 今日の歌
「奉仕の理想」
- 例会後
鈴木ガバナー補佐を迎えての
新旧合同クラブ協議会

来週の例会予定

- 5月2日(木) 祝日・休会
5月9日(木)
卓話
「ロータリークラブ在籍55年
私のひとり言」
出口 和義 君
「さよなら昭和・平成
一思いつくまー」
大塚 俊彦 君
- 例会後 5月度定例理事会

4月は 母子の健康月間

先週の出席報告(4/18)

先週(4/18)の出席者数：31名(1)
ビジター1名：大阪大淀RC
吉田 悦治 様

4/18 出席率：59.62%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員：65名(免除14名)

	3/28	4/4	4/11
HC 出席	27(2)名	30(1)名	36(2)名
MU 出席	13(0)名	7(0)名	2(0)名
修正出席率	75.47%	71.15%	71.7%

会長の時間

水上 会長 (4/18分)

今日は、大阪大淀ロータリーの吉田悦治さんが、来られております。今年の国際大会と一緒に行かれます。ごゆっくりして下さい。

先週例会後、ライラ委員会が事務局で行われました。そこに、「表さんが例会場で倒れた!!」という報告があり、皆さんがビックリしてしまいました。我クラブの重鎮でもありますので、大変心配をしていましたが、今日は、お元気で例会に参加しておられるので、ホッとしました。しかし、精密検査を受けられて、完全に健康になられるようにして下さい。

その後、私は、中国北京で仕事があり、行っておりました。以前の北京とは全く異なっていたので、ビックリしました。北京の空気がキレイになっていました。毎日、太陽が見えていました。もっと驚いたことは、北京市内のラッシュアワーがなく、仕事の行き帰りが、スムーズでした。どうしてこんな事になったのかと言うと、公害を出す大企業は、田舎へ引っ越しをさせられ、また、小さな会社も強制的に移住したそうです。そのため、このようになったとのことです。例えば、韓国の現代自動車も引っ越ししたそうで、社員も全員北京から居なくなってしまったそうです。

又、中国では今、996という言葉が、盛んに言われていました。米中貿易戦争のため、内需を増やしたいとのことです。意味は、朝9時から夜9時まで働きなさい。週に6日は働きなさい。ということで、これにより、収入を増やし内需を増やしなさい。ということでした。

日本では、就労は週40時間としなさい、残業は月30時間以内としなさい、有給は5日以上取りなさい、等々の働き方改革が叫ばれているのですが、中国は、公害はダメ。もっと働きなさい。内需は増やしなさい。ということになっていました。国が変われば事情も変わるのだと、感心致しました。

今日は、ロータリーでいっぱいです。

11時から「国際大会の予定打ち合わせ」。そして「例会」と続き、その後、「よろず相談の打ち合わせ会」、夜は、オ・セイリュウで「次年度理事並びに委員長懇談会」です。なかなか楽にはなりません。

東大阪東ロータリークラブ事務局

〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ 302号室

TEL:072-985-0189 FAX:072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

幹事報告

藤本幹事

本日は、鈴木ガバナー補佐、加茂ガバナー補佐エレクト、ようこそお越し下さいました。例会後の新旧合同クラブ協議会ではご指導賜ります。よろしくお願い致します。

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、新旧合同クラブ協議会
- 【2】 4/27 (土) ~29 (祝・月) 春のRYLAセミナー 於：ホテルセイリユウ
- 【3】 5/2 (木) 祝日・休会
- 【4】 5/9 (木) 例会後、5月度定例理事会

<連絡事項>

- 【1】 本日例会後、鈴木ガバナー補佐、加茂ガバナー補佐エレクトをお迎えしての新旧合同クラブ協議会です。多数のご出席よろしくお願い致します。
- 【2】 いよいよ春のRYLAセミナーが直前に迫りました。まだまだ準備がございますのでお時間のある方はご協力をよろしくお願い致します。

委員会報告

◎55周年実行委員会

天野 正亮

4月20日、寺子屋子供食堂第2回を実施致しました。今回も前回同様素晴らしい好天に恵まれました。今回は境内の真っ白な藤が満開となり、雲ひとつない青空の下、子供達は勉強に遊びに楽しい一日を過ごしました。

クラブよりは水上会長、小林パスト会長、山本会員が参加頂き、事務局の泉さん、泉さんのお知り合いで子供が参加してくれているお母さんも学習指導の中、問題集の採点に先生一人では対応が大変と言う事でご協力を頂きました。今回は、子供30名、ロータリアン4名、学習指導の先生1名、ボランティア12名(うち民生委員2名)、社会福祉協議会より1名、合計48名の参加がありました事を報告申し上げます。



俳句同好会 輪の会便り

天野 正亮

今、私の御寺では満開の桜が葉桜となり、真っ白な藤の花が咲こうとしています。移り変わる季節の中でこの美しい風景を何度見てきた事でしょう。しかし、あと何度見られるのでしょうか。仏教では私たちの世界を娑婆と言います。釈尊が説いたこの世界の事を言うのですが、もともとインドの言葉で説かれた経典を漢訳されたものを私たちは用いています。インドの言葉を漢訳する僧侶の事を三蔵法師と言います。娑婆と訳したのはクマラジーバという中央アジアの三蔵法師でインドの言葉サーハに漢字をあてただけのもので、所謂、表音文字であり、表意文字である漢字をいくら調べてもその意味はわかりません。また、御経を訳するのは一人の三蔵法師だけではなく、同じ言葉を西遊記のモデルとなった玄奘三蔵法師は忍土と訳されました。これは表意文字ですからその意味は、忍は耐える事ですから、私たちの世界は耐える世界である事が解ります。そして、何に耐えるかも明らかにして下さいました。それは自らの煩惱に耐える、すなわち、思い通りにならない世界であり、無常に耐えねばならないと言う事です。今年見たこの春の花々を来年も間違いなく見られるとは限りません。仏教によって培われたこの無常観の中で日本の文化は育まれてきました。見る目を変えるとありとあらゆる存在が感動を与えてくれます。

2019年3月 ER輪の会俳句 自薦句

太 己枉ぐマスコミ頼み花粉症
精一 気持ちよく薄着を羽織り朝曇り
洋子 白連の眩しきひかり天に帰す
侑才 指先も軽くなりけり春兆す
春正 本性は捨てられぬもの猫の恋
正信 三陸は春の魚と人戻る
尊春 老いるたびおたまじゃくしを懐かしむ
靖明 卒園児希望膨らし母涙
恵生 囀や畑に一人田に一人
邦夫 和菓子屋の三色だんご春麗ら
安徳 ふらふらと紋白蝶についてゆく